

平成28年度第1回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日時	：	平成28年7月22日（金）	13:00～15:30
会場	：	秋田県立近代美術館 研修室	
出席者	：	委員	浅野 壽里 アート教室「森のおと」主宰
		〃	泉 一志 秋田魁新報社文化部長
		〃	樫尾 典子 公募（イベント会社役員・司会業）
		〃	木村 雅美 横手市まちづくり推進部生涯学習課長
		〃	澤谷 ゆりか 秋田ふるさと村総務部総務課長
		〃	澁谷 和之 澁谷デザイン事務所代表
		〃	永沢 弘 横手市立横手南小学校長
		〃	松田 砂織 えがおの花書道教室代表
		〃	涌井 良介 日本放送協会秋田放送局長
事務局		林 栄美子 生涯学習課 生涯学習・学芸振興班 学芸主事	
		〃	仲町 啓子 近代美術館 館長
		〃	三浦 直 〃 副館長
		〃	保泉 充 〃 学芸班 主任学芸主事（兼）班長
		〃	古村 光晴 〃 総務班 副主幹（兼）班長
		〃	柴田 卓也 〃 〃 副主幹
		〃	茂木 亨 〃 〃 主査
		〃	西野 美佳 〃 学芸班 主任学芸主事
		〃	木村 雅洋 〃 〃 学芸主事
		〃	藤井 正輝 〃 〃 〃
		〃	奈良 香 〃 〃 〃
		〃	小林 紀子 〃 〃 〃
		〃	鈴木 京 〃 〃 〃

<次第>

- 1 開 会
- 2 辞令交付
- 3 館長あいさつ
- 4 委員・職員紹介
- 5 館内視察
- 6 会長選出

会 長 木 村 雅 美 委員

副会長 亀 沢 修 委員

7 協 議

- (1) 平成27年度近代美術館事業の概況について

三浦副館長が、平成27年度の入館状況を中心に近代美術館全般にわたっての概況について説明。

- (2) 平成28年度近代美術館事業の概要について

学芸班長が平成28年度の特別企画展、教育普及事業の計画と執行状況について説明。

- (3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

8 閉 会

<協議概要>

■ 近代美術館のハード面

展示室の壁面クロスの汚れが目立つ。美しい美術品を展示する美術館。秋田県を代表する施設の位置づけであり、現在の展示室内装では人を迎え入れるには厳しい状況にあると思う。

→ 以前から予算要求しているが予算計上まで至らない。同じような規模で予算要求している屋上防水工事が予算化されて、今年秋に工事予定。開館から20年を超過しているため、空調設備を中心に各分野の更新時期を迎えているが、その中でも展示室クロス張替の予算獲得に力を入れて望む。

入館時のアプローチ部分がさみしい。逆の視点から、そこに工夫を凝らすことでチャンスがある。魅力のある施設なので、ドキドキさせる仕掛けを。

収蔵施設を見学したが、収蔵関連と展示関連の予算バランスは。

→ 収蔵と展示は館運営で代表する部門。文化を次世代に伝え残すため収蔵関連に経費が掛かることは他館も同じ状況にある。

■ 教育普及について

昨年度、この会議で街角ギャラリー的な児童生徒の発表の場を設けて欲しいとの要望に対し、早速ふれんどりーギャラリーを活用した事業が進められている。さらなる推進を。

大型ショッピングセンターに行けば何かあるという休日の過ごし方を周囲から聞く度にさみしさを感じる。子供向けの企画が多いので、ここに来れば質の高い子育てができる、といったアプローチをしていければ良いのではないか。

■ 近代美術館のソフト面からのPR

特別展の印象から美術に詳しい人向けという印象もあるが、コンサートや教室等の楽しむ事業も行っていることを知った。入館料が掛からないこととか、イベント情報など発信力が鍵を握る。ふるさと村の情報発信と共に近代美術館の情報も。

他館の特別展では、Facebookを毎日のように更新して、一つ一つの作品に込める学芸員の気持ちや伝わってきた。ホームページの充実だけでなく、TwitterやFacebookを活用してのさらなる発信を。

■ 他館や地域との関わり

近代美術館1箇所だけで人を呼ぶのではなく、秋田市の県立美術館とセットで出来る事を考えては。回遊型の仕組みをつくることで連携していけるはず。増田の蔵とか角館への観光客も。

横手市では増田の蔵のほか、まんが美術館のリニューアルと併せて近代美術館との連携を考えている。また、横手市では情報センターを立ち上げたので近代美術館の事業紹介等も可能に。

→ この秋の展覧会「橘小夢展」においては、地元横手市だけでなく、小夢にゆかりのある湯沢市の方々から応援をいただいている。美郷町からの協力も得て進めていきたい。

秋田蘭画を貸し出して、東京のサントリー美術館で展覧会の開催があるようだが、首都圏における秋田蘭画の認知度が低いことを心配している。歴史背景や考え方などを広報して秋田蘭画を盛り上げて欲しい。Facebook等で秋田蘭画に対する思いとか、どのように見たら絵を楽しめるとかを書き込み・更新していけば、発信力につながると思う。

[参考] そのほか、新県立美術館に関する話題も提供された